

## 国土交通省 電子小黒板の活用開始

直轄工事で、電子化された工事黒板(電子小黒板)の活用の導入の開始が2017年2月1日より適用された。

電子小黒板とは、デジタル機器で被写体を写す画面上に自動的に組み込まれる電子の工事黒板のこと。

受注者の申請を発注者が承諾すれば、従来の工事黒板に代わり小黒板用アプリなどで撮影した工事写真の提出を認め、写真整理の効率化につなげる。また発注者は、デジタル写真の改ざんを防ぐため、信ぴよ性確認機能のある機器の使用を求める。

国交省では不適切な修正を自動検知し、信憑性を確認する仕組みを取り入れており、撮影機器には改ざん検知機能を有している。

### 従来

- ①計測値の測定
- ②写真管理項目の記入  
(小黒板)



- ③写真撮影
- ④写真帳整理・編集  
(管理情報の入力)

### 今後

- ①計測値の測定(自動取込)
- ②写真管理項目の入力
- ③写真撮影
- ④写真整理  
(管理情報による自動整理)



従来の工事写真撮影では、小黒板に実測値や撮影箇所などの必須事項をチョークで書き、撮影する写真に被写体として支障にならない位置に設置していた。

電子小黒板は、従来の小黒板に記載していた撮影箇所(測点)や工種、種別、略図などを電子化し、撮影時に写し込んで撮影する新たな写真撮影方法のこと。

### ■メリット

- 写真撮影準備** → 小黒板への情報記入作業が不要に！
- 写真撮影業務** → 小黒板を設置する人員が不要に！
- 危険作業** → 危険箇所への小黒板の設置が不要に！
- 写真管理業務** → 夜遅くまでの写真整理が不要に！

1週間分の工事写真を整理する時間が従来の60分から5分程度に縮減

## 労務単価全国全職種 3・4%増

国土交通省は、3月1日以降の契約から適用する公共工事設計労務単価を発表。全国全職種(48職種)の平均は前年度比3.4%増の1万8078円(伸び率は単純平均、金額は加重平均)となり6年連続で上昇。昨年2月の改訂に続き、都市部よりも地方の伸び率が高い傾向が出ている。

<公共工事の積算に使用する労務単価>

技能労働者の所定労働時間8時間当たりの基本給と基準内手当及び1日当たりの臨時給与と実物給与で構成されている。

## 2級土木・建築 学科のみ受験者増加

2級土木・建築施工管理技術検定の2016年度試験で、学科試験のみの受験者数が大幅に上昇した。

2月3日までに発表された2級土木と2級建築のいずれも受験者数が前年度から約1400人増えた。国土交通省は、16年度試験で学科試験の受験資格を緩和し、受験可能な時期を大幅に前倒した。学科試験のみの受験者は、実地試験の受験資格を持たない若年層に多く、早期受験を促す今回の緩和措置の効果が表れたものとみられる。

国交省は、2級技術検定の早期受験化を図るため、06年度から学科試験のみの受験を認めており、16年度試験からは、学科試験のみの受験を工業高校などの指定学科で1年、指定学科以外で7年前倒しにするさらなる緩和措置を講じた。これにより、2級技術検定の学科試験は最短17歳から受験できるようになった。

学科試験のみを早期に受験する若年層には、その後の2級実地試験や1級学科試験も早期に受験する傾向がある他、合格率も通常の受験者に比べて高い。国交省は、早期の資格取得が若年層の定着に効果があるとみて、今後も若年層をターゲットに要件緩和を図っていく。

## 社保未加入2次以下 4月1日から排除

国土交通省は、4月1日以降に入札手続きを開始する全ての直轄工事で、社会保険未加入(企業単位)の2次以下の下請けを排除する。原則30日間の猶予期間を設け、元請けに2次以下の下請けへの加入指導を求める。10月1日以降は、猶予期間内に加入が確認されなければ、元請けに制裁金・指名停止・工事成績減点のペナルティーを与える。

2次以下の下請けと元請けに直接の契約関係はないが、国交省は、直轄工事には、元請けに加入指導の義務を与え、公平な競争環境の構築を目指す。

## <ただ今、先着30名受付中！>

## 京都サンダーCPDSセミナーのご案内

### CPDS 6 ユニット認定講習会

### —技術者のための土質力学の基礎知識—

現場の事故やエラーを防ぐ土質力学の基礎

日時:2016年3月24日(金) 9:00~16:00

募集人数:30名【先着順受付】 費用:1万円

会場:京都府中小企業会館708号室

(京都市右京区西大路五条下る東側)

◇災害列島日本における土木技術者の課題と役割を考察

◇災害事例から学び災害予測に活かす技術とは

【講師】 安川 郁夫 (総合技術監理部門・建設部門技術士

/一般財団法人地球システム総合研究所主事・特別研究員)

【内容】

第一部「避けられない自然災害と土木技術者の宿命」

第二部「現場の失敗で何が問題か—事故例から学ぶ」

第三部「事故を防ぐ調査結果の活用と土質力学の基礎」

第四部「今さら聞けない土質力学の基礎」

## 建設ディレクター育成講座 第5回～第8回

2月7日(火)の第5回から、2月28日(火)の第8回目まで開催した「建設ディレクター育成講座」の様子をご紹介します。

### 積算マネージャーコース(全4回)

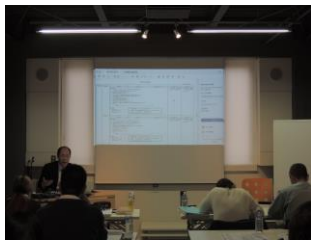
#### ■2月7日 第5回

午前の部 建設物価サービス株式会社

午後の部 ゲストスピーカー

積算実務概論では、公共工事完成までの流れを把握し、積算に関する考え方や基礎、手順を学習。工事成績評定実施項目から特に重要な点をピックアップし、総合評価のポイントについての解説がありました。

午後からは実際に建設業で現代理人として積算業務にも携わるゲストスピーカーによる講義。豊富な経験と知識にもとづく解説。また模造紙を使って、公共工事完成までの流れなど、学習した内容の再確認や、積算を学ぶために必要となる柔軟で多様な視点を学習しました。



2月14日(火)以降の3回にわたる講義では、株式会社ビーイングによる積算演習①～③「パソコンを使用して、積算事例をもとに設計書を作成」が行われました。

#### ■2月14日 第6回 (午前・午後)

午前の講義では、前回の講義の復習をもとに積算業務についての入門知識を学習しました。

午後からははいよいよ、土木積算ソフトを使って、実際に機能や操作をしながら、学びました。初めて積算業務に触れる方から経験者の方まで、多彩な経歴をの受講生の方々が、講師の指導のもとに疑問を解決しながら、熱心に演習問題に取り組みました。

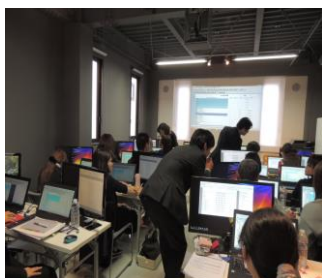
#### ■2月21日 第7回

まず初めに、直接工事費や歩掛・単価、予定価格・最低制限価格について改めて確認。その後積算ソフトに設計書を取り込み、関連書類に記載されている情報をソフトに入力して“積算演習”を行いました。

また、積算参考資料、特記仕様書、数量計算書に書かれている事項を参考にして、注意すべき点や必要事項の探し方について、丁寧な解説がありました。

#### ■2月28日 第8回

4回にわたる“積算マネージャーコース”の最終回。まず初めに、学習した積算演習の総復習を行いました。最後に京都府の工事入札公告・一覧情報ホームページから、実際に工事案件を選び、チーム対抗で逆計算での入札演習。見事、落札したチームには、講師から素敵なプレゼントが贈られました。



■次回からははいよいよ、建設コストマネージャーコースがスタート！

## <京都サンダー取扱い商材のご紹介>

### 土木向け原価管理システム MIYAシステム

ミヤシステム 株式会社  
NETIS登録商品！

#### 特徴1.「安心できる経営を目指して」

これまでの結果を集計するだけの原価管理から、日々のリアルタイムな損益管理を実現します。

#### 特徴2.「信頼できる監督さん」

確実な利益管理を目的とし、明日の段取りとコストに応じた作業量を実行予算から逆算し、シミュレーションできる予定日報を重要視しています。



#### 【工事日報】

原価のみ (原価の把握)	本日の損益 (過去形)
予定日報 (採算ベース)	予定日報 (利益ベース)

### 電気設備・建築・機械向け原価管理システム どっと原価NEO

#### 株式会社 建設ドットウェブ

見積・予算・原価・支払・請求・会計までトータルサポート  
-業務改善と現場部門の利益管理の向上で体質改善を-

#### ・オプション選択形式

利用目的や業種に合わせたシステムチョイスが可能

#### ・同時アクセスライセンス方式

インストール台数は無制限

#### ・エクセルフリー

帳票の原本がエクセルなので、加工が可能(全帳票可能)



## セミナー参加 ご報告

### 【2月17日開催 公共工事の契約と設計変更 CPDS講習会】

大阪城を見下ろす国民會館での開催講習会に参加しました。出席者約150名。13時30分から1時間、近畿地整備局企画部担当官から公共事業における設計変更ガイドライン(案)についての特別講演。設計変更のポイントは受発注者は対等であり、双方のコミュニケーションを良くして工事進捗を図ること。引き続き、(一財)建設物価調査会講師の芦田義則氏から「公共土木工事の設計変更」の要点についての解説がありました。多様な事例紹介を受講者の皆さんはメモをとりながら熱心に聞き入っておられました。

